令和２年度　要望・提言内容等意見集約　一覧表

第３０回議員全体協議会でのグループ討議内容及び各委員会等から出された意見集約内容は以下のとおり。

１．第３０回議員全体協議会・グループ討議

①地理的優位性と災害に強い街をアピールしたプロモーション活動（マスメディアの有効活用、SNS による情報発信）の強化と企業誘致並びに空き家を活用したリモートワーク拠点整備について（まちづくり）

②国道２９４号バイパス沿いを中心とした「新たなまちづくり」の整備について（まちづくり）

③地産地消を推進するために独自の税制優遇策等の支援措置について（中小企業対策）

２．総務運営委員会

①近隣県との広域連携による救急医療対策の整備について（医療）

②Suica 対応機器の設置について（公共交通）

③東北新幹線新白河駅停車増便及び最終便の時間延長について（公共交通）

④災害時の情報発信ツールの整備及び正確な情報提供について（災害）

３．観光開発委員会

①国道２９４号交差点～県道７６号伊王野白河線交差点間の４車線化の早期実現について（インフラ）＊観光振興面からのアプローチ

②近隣県との広域連携による救急医療対策の整備について（医療）

４．環境整備委員会

①国道２９４号交差点～県道７６号伊王野白河線交差点間の４車線化の早期実現について（インフラ）

＊通勤の慢性的な渋滞解消、通勤路となる企業側の意向・従業員数等を強調

②白河国道４号４車線化の早期の整備促進について（インフラ）

③PCR 検査の拡充及び検査費用の自己負担軽減について（コロナ関連）

④新型コロナウイルス感染症対策による新しい生活様式に対応した事業活動を推進するうえで、事業所建屋及び敷地が限られているため、新たに建屋・敷地を拡大・拡充するための支援措置について（コロナ関連）

⑤産業構造割合が高い第３次産業の業種から業種転換（転業、例：第２次産業）するための支援措置の創設について（中小企業対策）

⑥国外に製造拠点を有する製造業の国内回帰への対策について（産業振興）

⑦自然災害時の安全対策として河川にライブカメラの設置について（災害）
⑧台風１９号の災害状況を教訓として、復旧のみならず、同規模の災害がいつ起きても安全性が万全となる対策及びライフライン確保対策について（災害）
⑨自然災害及び不慮の事故等により車両停止後の代替交通輸送手段の確保について（公共交通）

５．商業活性化委員会
①事業継続のための事業所救済措置の拡充について（中小企業対策）
②段階的な経済活動の回復に向けた他県からの来白者受入対策について（コロナ関連）
③食料品取引における最低価格保証の設定について（中小企業対策）
④空き家への移住促進について（まちづくり）
⑤国道２９４号バイパス開通後の現２９４号の国道解除に伴い天神町・中町・本町の旧奥州街道の片側駐車場化について（まちづくり）
⑥空き家・空き店舗を解体し、駐車場の整備について（まちづくり）
⑦旧奥州街道沿いの電線地中化の実現について（まちづくり）
⑧東北新幹線新白河駅停車の朝・夜を増便し、移住推進を図る取り組みついて（公共交通）

６．まちづくり委員会
①新武道館（現代版立教館）の建設について（まちづくり）
②旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷の高い視認性を確保するための旧.勧工場の解体について（まちづくり）

令和２年度　要望・提言内容等意見集約　一覧表
（カテゴリー別）

区分	項目
まちづくり	①地理的優位性と災害に強い街をアピールしたプロモーション活動（マスメディアの有効活用、SNS による情報発信）の強化と企業誘致並びに空き家を活用したリモートワーク拠点整備について ②国道２９４号バイパス沿いを中心とした「新たなまちづくり」の整備について ③空き家への移住促進について ④国道２９４号バイパス開通後の現２９４号の国道解除に伴い天神町・中町・本町の旧奥州街道の片側駐車場化について ⑤空き家・空き店舗を解体し、駐車場の整備について ⑥旧奥州街道沿いの電線地中化の実現について ⑦新武道館（現代版立教館）の建設について ⑧旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷の高い視認性を確保するための旧.勧工場の解体について
産業振興・中小企業対策	①地産地消を推進するために独自の税制優遇策等の支援措置について ②産業構造割合が高い第３次産業の業種から業種転換（転業、例：第２次産業）するための支援措置の創設について ③国外に製造拠点を有する製造業の国内回帰への対策について ④事業継続のための事業所救済措置の拡充について ⑤食料品取引における最低価格保証の設定について
医療	①近隣県との広域連携による救急医療対策の整備について
公共交通	①Suica 対応機器の設置について ②東北新幹線新白河駅停車増便及び最終便の時間延長について ③自然災害及び不慮の事故等により車両停止後の代替交通輸送手段の確保について ④東北新幹線新白河駅停車の朝・夜を増便し、移住推進を図る取り組みついて
災害	①災害時の情報発信ツールの整備及び正確な情報提供について ②自然災害時の安全対策として河川にライブカメラの設置について ③台風１９号の災害状況を教訓として、復旧のみならず、同規模の災害がいつ起きても安全性が万全となる対策及びライフライン確保対策について
インフラ	①国道２９４号交差点～県道７６号伊王野白河線交差点間の４車線化の早期実現について ②白河国道４号４車線化の早期の整備促進について
コロナ関連	①PCR 検査の拡充及び検査費用の自己負担軽減について ②新型コロナウイルス感染症対策による新しい生活様式に対応した事業活動を推進するうえで、事業所建屋及び敷地が限られているため、新たに建屋・敷地を拡大・拡充するための支援措置について ③段階的な経済活動の回復に向けた他県からの来白者受入対策について

立教館について

創立経過：それまで白河には藩校がなかったが、松平定信が藩主になった 1783 年（天明 3 年）、藩立の学問所として設立。その後、1791 年（寛政 3 年）に規模拡大して立教館として命名。

創立場所：白河小峰城内会津町

創立理念：学問的素養の修得、藩政改革のための有能な人材の育成

建物構造：40 間（約 72m）4 方の 1,600 坪の敷地。

中心　講堂

講堂の東側　句読局、習書局、数学局、文庫

講堂の外側　弓場、砲術場、剣術場、槍術場、居合場、柔術場

講堂の北側　教授・学頭らの庁舎、寄宿生の諸生寮等

入学資格：11 歳になった藩士の子弟

学習内容：漢学が中心

素読科（初等科）　四書五経の読みを練習

会読科（中等科）　四書五経を話し合い共同学習を行う

看書科（上等科）　日本外史・日本政記などを読み、小学・四書などを学ぶ

文学部　漢学、和学、数学、天文学、習字学、画学、音律、舞楽、儀式学、蘭書学

武術学　兵学、剣術、槍術、長刀術、弓術、馬術、柔道、棒術、居合術、鉄砲、火矢術、遊泳、漕舟術

※幼少生徒には「立教館童蒙訓」を訓示し、学問の目的と君臣・父子・夫婦・長幼・明友について五倫五常の道を諭した。

※学則的な内容の「立教館令状」を定め、生徒の心構えや教えを示した。

運営資金：南湖付近の荒地を開拓して新田を設け、その年貢を運営資金に充てた。

創立後　：松平家の桑名移封に伴い、立教館も転居

令和２年度事業計画の進捗状況
武道館の現状について

昨年度２回開催したまちづくり委員会の中で意見が上がった「武道館の移設」の件について、事務局で調査した結果は以下の通りです。

【現状】

所在地：白河市向新蔵 125 番地２　TEL22－1864

敷地面積：2,464 ㎡

建設年月日：昭和 46 年３月 31 日竣工　建設費 31,570 千円

構造・施設：鉄骨造一部 RC 造２階建、木造平屋（1,247.46 ㎡）

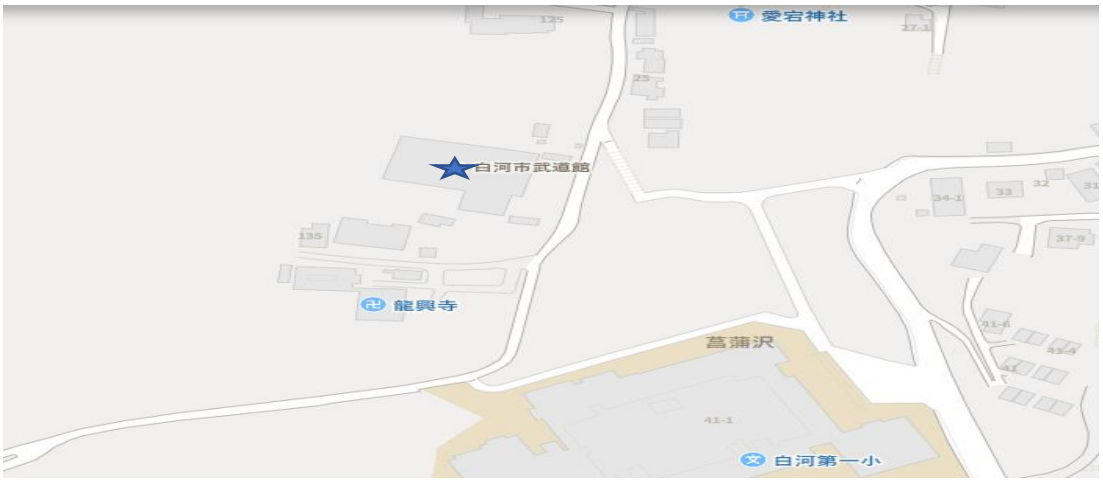
柔道場（294 ㎡）、剣道場（294 ㎡）　（観客収容人員 200 人）

弓道場（6 人立 208 ㎡）

指定管理者：白河市武道館利用者協議会　会長　佐藤　明男

（柔道・剣道・合気道・空手・弓道の各団体が加盟）

修繕：老朽化に伴う修繕は、白河市へ都度連絡を行い対応。



白河市武道館位置図

白河市武道館外観

利用時間　午前９時～午後９時

利 用 者　個人等の少人数での利用している。（午前９時から午後３時まで）

各道で、使用している。（夕方から午後９時まで）

利用状況（令和元年度）

柔道	剣道	弓道	合気道	空手道	その他	計
1,636人	4,005人	4,528人	1,806人	751人	107人	12,833人

中体連等の大会会場（規模の小さい大会のみ）

使用料（1時間につき）

区分			午前9時～午後5時	午後5時～午後9時
市内	専用	一般	550円	720円
		高校生以下	270円	350円
	個人	一般	110円	160円
		高校生以下	50円	70円
市外	専用	一般	820円	1,080円
		高校生以下	400円	520円
	個人	一般	160円	240円
		高校生以下	70円	100円

〇利用者の意見

「大会をやるには建物が小さく狭いうえ、駐車場も足りない。道路が狭くバスも入れない。」

「更衣室が男女わかれていない。」

「柔道、剣道、合気道で使用する曜日を振り分けて時間が重ならないようにしているが、団体によっては新規加入者が増えている一方で、コロナ対策で一度に使用できる人数を制限してしまうと、建物は狭く感じる。」

「施設前の道路が狭く、また周辺には片側一方通行の道路もあり、加えて坂道であるため、運転が難しい。特に冬の送迎は危険も伴う。」